

かつての暮らし・風景と、今を重ねる

釜川まちあるき



11月21日(月)・26日(土)

時間 午前 10時～12時(受付9時45分)

少雨決行・荒天中止

集合

ふれあい広場

(宇都宮市曲師町)



繁華な宇都宮市の中心を流れる釜川沿いにも、過去から現在までの間、人びとがここで暮らし、働きながら風景をかたちづけてきた歴史のあとがたどれ、感じられる場所がいくつか残っています。今回のまちあるきでは、釜川流域の地理を調べてきた講師とともに、古写真と今の風景を見比べるなどしながら釜川沿いを歩きます。またその後は、参加者の皆さんと釜川沿いの思い出や魅力について語ります。ご一緒にいかがですか？

講師 | 廣瀬俊介 (環境デザイナー・風土形成事務所)

オリオン通り 一ツ橋から南を望む(上) 出典: 釜川 20 周年記念事業実行委員会 昭和 30 年前後の釜川と中心部の町並み

定員 | 各回 20 名 参加費 | 無料 持ち物 | 歩きやすい靴、飲み物、筆記用具

申込 | 添付の QR コード、または KAMAGAWAPOCKET (宇都宮市二荒井 8-15) テラスにある申込用紙よりお申込みください。

共催 | カマクリ協議会、一般社団法人釜川から育む会 出典協力 | 宇都宮まちづくり推進機構 お問合せ | 釜川から育む会 kama9ri@gmail.com



お申込み